

2026年度 JASSO 海外留学支援制度(協定派遣)学内募集要項

独立行政法人日本学生支援機構(以下、「JASSO」とします)の「海外留学支援制度(協定派遣)」は、日本の大学等が諸外国の高等教育機関等の学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき派遣される学生に対して、留学に係る費用の一部を奨学金及び渡航支援金として支援する制度です。

以下のとおり、本制度による返済不要の給付型奨学金の支援を希望する奨学生を募集しますので、是非ご応募ください。

1. 対象

2026年度長期留学(秋派遣)または2027年度長期留学(春派遣)で本学交換留学協定校に留学をする派遣留学生

2. 応募要件

上記の「1. 対象」のうち、次の要件を全て満たす者を支援の対象とします。

- (1) 日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む)
- (2) 本学の交換留学協定校が受入を許可する者(日本に留学中の外国人留学生は対象外)
- (3) 派遣プログラムへの参加にあたり、経済的な支援を希望する者
- (4) 中央大学における2025年度の「JASSO 成績評価係数」が2.30以上(3.00満点)である者、または入学時から
の累計の「JASSO 成績評価係数」が2.30以上(3.00満点)である者
※ 計算方法の詳細については、後掲の別紙の内容を参照してください。
- (5) プログラムへの参加にあたり、他の団体(学内の奨学金含む)から支給される海外留学プログラム参加のための奨学金(渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれません)を受け、その奨学金支給月額(複数の他団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額)が、本制度による奨学金月額を超えない者
※ 併給可能 … 本学が実施する「長期留学支援奨学金」、JASSO が実施する「第一種・第二種奨学金」(貸与型)
[本奨学金と「長期留学支援奨学金」を併給する場合の留意点]
両奨学金を受給できるように「長期留学支援奨学金」の支給額を調整する場合があります。

※ 併給不可 … JASSO が実施する「国内の給付奨学金」、「海外留学支援制度(大学院学位取得型)」、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～」

3. 募集奨学金、支援予定人数、支援対象となる留学計画

募集奨学金及び支援予定人数は以下のとおりです。なお、支援人数は募集の状況等により変動する場合があります。

なお、各奨学金の詳細内容については、後掲の別紙の内容を参照してください。

| No. | 奨学金名称 | 支援対象 | 対象地域 | 支援予定人数 |
|-----|---|---------------------------|------|--------|
| | 北米留学奨学金 | アメリカ・カナダの大学での学修活動を行う留学を支援 | 北米のみ | 25人 |
| | 支援対象となる留学計画の内容 | | | |
| ① | <p>アメリカ・カナダの本学交換留学協定校において、以下に示す3点の「グローバルな視野と実地応用の力」に必要な素養を身につけることを目的とする留学計画を支援します。</p> <p>①専門分野に関する知識の深化と拡大 ②多様性がある価値観や考え方に触れることによる視野の拡大 ③直面する失敗や挫折を克服する経験によるストレス耐性・まえに踏み出す力の強化</p> <p>なお、本奨学金の対象となる留学では、帰国後は留学報告書・留学報告会・卒業論文で成果を形にして評価を受け、さらに本学独自システム「C-compass」の行動特性指標のうち、各項目において6段階中5以上の到達を目標とします。</p> | | | |

| No. | 奨学金名称 | 支援対象 | 対象地域 | 支援予定人数 |
|----------------|--|----------------------------|-------------|--------|
| | 欧州留学奨学金 | 欧州の大学での学修活動を行う留学を支援 | 欧州のみ | 39人 |
| 支援対象となる留学計画の内容 | | | | |
| ② | <p>欧州の本学交換留学協定校において、以下に示す3点の「グローバル社会で活躍できる人間力向上と、グローバルな課題を突破するための実地応用力」に必要な素養を身につけることを目的とする留学計画を支援します。</p> <p>①留学先での学びに基づく専門分野に対する知識の深化と、これに基づく論理的な思考力 ②言語・文化・習慣等の異なる人種との交流を通じた価値観の拡大と、これに基づく豊かな感性・人間力 ③異文化間で生じる各種の課題認識の醸成と、それを解決するために必要な行動力</p> <p>なお、本奨学金の対象となる留学では、帰国後は留学報告書・留学報告会・卒業論文で成果を形にして評価を受け、さらに本学独自システム「C-compass」の行動特性指標のうち、各項目において6段階中5以上の到達を目標とします。</p> | | | |
| No. | 奨学金名称 | 支援対象 | 対象地域 | 支援予定人数 |
| | アジア・オセアニア留学奨学金 | アジア・オセアニアの大学での学修活動を行う留学を支援 | アジア・オセアニアのみ | 25人 |
| 支援対象となる留学計画の内容 | | | | |
| ③ | <p>アジア・オセアニアの本学交換留学協定校において、以下に示す3点の「多文化共生社会の実現に資する人材」に必要な素養を身につけることを目的とする留学計画を支援します。</p> <p>①言語・文化・人種・習慣等の多様な価値観に触れること ②多文化主義、多文化共生、多民族社会(相互理解・尊重・規範等)の実践からの学びを得ること ③特別配慮措置、文化的承認、多文化共生教育等、多文化社会における制度面でのあり方について考察を深めること</p> <p>留学中は専門分野のみならず各地域の社会課題に対する学びや、フィールドワークや現地語学研修等、課外活動への積極的な参加が求められます。</p> <p>なお、本奨学金の対象となる留学では、帰国後は留学報告書・留学報告会・卒業論文で成果を形にして評価を受け、さらに本学独自システム「C-compass」の行動特性指標のうち、各項目において6段階中5以上の到達を目標とします。</p> | | | |

| No. | 奨学金名称 | 支援対象 | 対象地域 | 支援予定人数 |
|----------------|--|---------------------------------|-----------------|--------|
| | グローバル・アントレプレナーシップ奨学金 | 留学中にビジネス分野での活用を想定した学修活動を行う留学を支援 | オーストラリア・韓国以外の地域 | 11人 |
| 支援対象となる留学計画の内容 | | | | |
| ④ | <p>本学交換留学協定校の正課授業履修に加え、「実践活動」を含むグローバル・アントレプレナーシップ・マインドを重層的に身につけることを目的とする留学計画を支援します。専門領域の知識を深めるだけでなく、「実践活動」を通じた協働作業を通して、多様な価値観を認め尊重することができるコミュニケーション能力・創造性・革新性を養うことが求められます。上述する「実践活動」とは、将来的に「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」となり、日本の未来を創る人材の育成を社会全体で強力に推進するという趣旨に沿う、座学や知識の備蓄型ではなく「実社会との接点」から将来におけるビジネス分野での活用を想定した学修活動(インターンシップ、スタートアップ企業の実地調査、現地企業家へのヒアリング、デザイン思考やアート思考など先端領域のワークショップへの参加、マーケティング活動など)のことをいいます。</p> <p>本プログラム参加者は留学前後に、全学部生が履修可能な「グローバル・アントレプレナーシップ入門/演習」等の授業や各学部に設置されたアントレプレナーシップ関連科目や課外で実施されるグローバルアントレプレナーシップ・プログラム(起業ワークショップ・講演会・セミナー等)に参加することが期待されます。</p> | | | |

| No. | 奨学金名称 | 支援対象 | 対象地域 | 支援予定人数 |
|----------------|--|---|------|--------|
| | グローバル PBL 型留学奨学金 | 留学中に、サステイナブルな社会を実現するために、その地域や国が抱える諸問題を複眼的にアプローチし解決策を考察し、その成果をプロジェクトレポートとしてまとめる PBL 型留学を支援 | 全地域 | 25 人 |
| 支援対象となる留学計画の内容 | | | | |
| ⑤ | <p>本学交換留学協定校において、サステイナブルな社会を実現するために、正確な課題認識、複眼的な視野、創造力、問題解決力、自己実現力、多様性創発力を養い、人類社会に貢献しグローバルに活躍する実地応用人材を育成することを目的とする PBL 型の留学計画を支援します。</p> <p>留学中は座学のみならず、現地における様々な人々との交流機会を通じたディスカッションやプレゼンテーション、外部団体に対する調査活動、調査レポートの作成等が求められるため、留学計画を立てる際には、以下に示す事項の実現を強く意識する必要があります。</p> <p>①グローバルな社会課題に対する理解、知識の深化を図るために必要な留学先での専門科目の修得(3科目以上が望ましい) ②言語・文化・習慣等の異なる人種との円滑な交流を可能とする英語運用能力の到達(帰国後において CEFR の C2 レベルの修得)</p> <p>なお、本奨学金の対象となる留学では、帰国後は留学報告書・留学報告会・卒業論文で成果を形にして評価を受け、さらに本学独自システム「C-compass」の行動特性指標のうち、各項目において 6 段階中 5 以上の到達を目標とします。</p> | | | |

※ ①～③、⑤の奨学金に採用された方は、留学終了後に、本学の「C-compass」による効果測定を行う必要があります。また、留学終了後における留学報告書の作成及び提出のほか、留学報告会にも参加(後日報告会の内容・様子は中央大学公式ウェブサイトに掲載)いただきます。

4. 支援の内容

(1)奨学金の支給

派遣先の国・地域(地域区分)によって奨学金月額が異なります。地域区分の詳細は、後掲の別表1「海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)国・地域コード表」をご参照ください。

| 地域区分 | 奨学金月額 |
|------|-------|
| A 地区 | 12 万円 |
| B 地区 | 11 万円 |
| C 地区 | 9 万円 |
| D 地区 | 8 万円 |

[支給基準]

- ・派遣期間を 31 日ごとに区切り、奨学金月額の支給月数(回数)を決定します。
- ・渡航に要する期間や渡航後のプログラムに参加していない期間は、派遣期間に含みません。
- ・オリエンテーション期間はプログラムの一環として行われるのであれば、派遣期間に含めて構いません。
- ・派遣先国・地域で連続して 31 日実施するもの。

[支給月数(回数)の考え方]

派遣期間の初日(支援開始日)から最終日(支援終了日)までの日数をもとに、以下の表に基づき奨学金月額の支給月数(回数)を決定します。

| 派遣日数 | 支給月数(回数) |
|-------------|----------|
| 31 日 | 1 回 |
| 32 ~ 62 日 | 2 回 |
| 63 ~ 93 日 | 3 回 |
| 94 ~ 124 日 | 4 回 |
| 125 ~ 155 日 | 5 回 |
| 156 ~ 186 日 | 6 回 |

| 派遣日数 | 支給月数(回数) |
|-------------|----------|
| 187 ~ 217 日 | 7 回 |
| 218 ~ 248 日 | 8 回 |
| 249 ~ 279 日 | 9 回 |
| 280 ~ 310 日 | 10 回 |
| 311 ~ 341 日 | 11 回 |
| 342 ~ 365 日 | 12 回 |

(2) 渡航支援金の支給

以下の支給対象・支給基準(「①家計基準」または「②派遣期間」)を満たす場合、奨学金とは別に「渡航支援金」を支給します。なお、「①家計基準」及び「②派遣期間」の両方に該当する場合、「①家計基準」のみの支給対象者となります。

[支給対象・支給基準]

①家計基準

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が次の金額である者

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 給与所得者の場合 | 年間収入金額(税込)が 300 万円以下 |
| 給与所得者以外の所得を含む場合 | 年間所得金額(必要経費等控除後)200 万円以下 |

②派遣期間

奨学金支給月数が6回以上の派遣学生が対象です。派遣期間(留学期間)を基に判断します。

[支給額]

①の基準を満たしている者

渡航支援金:16 万円

※こちらの受給には 2) 支給基準を満たすことを証明する書類の提出が必要です。

②の基準を満たす者

渡航支援金:1 万円

※こちらは派遣期間を基に自動的に判断します。書類提出は不要です。

5. スケジュール

| | | |
|-------------------------------|--|---|
| 説明会 | <p>■日時：2026年4月6日(月) 12:40~13:15</p> <p>■形式：オンライン <録画データは後日公開予定></p> <p>■場所：次のオンラインミーティングよりご参加ください。</p> <p>https://teams.microsoft.com/meet/45766679687417?p=Ga9YNRdkXDQ2xaSTgw</p> <p>ミーティング番号: 457 666 796 874 17</p> <p>パスワード: Uo38om9A</p> |  |
| <2026年度秋派遣学生> 応募期限 | <p><2026 年度秋派遣学交換留学予定者></p> <p>2026 年 4 月 24 日(金)午前 10 時<日本時間></p> <p>※応募期間外の提出はいかなる理由があっても一切受け付けません。</p> | |
| <2027年度春派遣学生> <u>仮応募期限</u> | <p><2027 年度春派遣学交換留学応募者></p> <p>2026 年 4 月 24 日(金)午前 10 時<日本時間></p> <p>※春派遣応募者は今回が仮応募となります(応募予定者数把握のため)。</p> <p>※応募期間外の提出はいかなる理由があっても一切受け付けません。</p> <p>※本奨学金への応募については、2026 年 7 月~8月頃に改めて本応募を行っていただく予定です。なお、詳細については対象者に後日お知らせします。</p> | |
| 結果通知予定日 | <p><2026 年度秋派遣学交換留学予定者></p> <p>2026 年 5 月 21 日(木)以降</p> <p>※ 全学メールにて通知予定。</p> <p><2027 年度春派遣学交換留学応募者></p> <p>本応募後に通知予定(詳細については、対象者に後日お知らせします)</p> | |

6. 【2026 年度秋派遣学交換留学予定者】応募方法 ※2027 年度春派遣学交換留学予定者は次の「7.」を参照 次の(1)と(2)の両方を必ず所定の期限までに完了してください。

期間外の応募はいかなる理由があっても一切受け付けません。

(1) manaba コースのアンケート機能を利用した「オンライン応募」

manaba コース「2026 年度秋派遣」のアンケート「2026 年度海外留学支援制度(協定派遣)オンライン応募」で必要事項を入力の上、応募期限までに留学計画を提出してください。なお、「グローバル・アントレプレナーシップ奨学金」または「グローバル PBL 型留学奨学金」に応募する場合は、「3. 募集奨学金、支援予定人数、支援対象となる留学計画」に示す留学計画の内容が、アンケートフォームで入力していただく留学計画に記載されている必要がありますので、ご注意ください。

【応募はコチラから】

manaba コース「2026 年度秋派遣」のアンケート「2026 年度海外留学支援制度(協定派遣)オンライン応募」

<https://room.chuo-u.ac.jp/ct/course/6486756/survey>



(2) manaba コースのレポート機能を利用した「応募書類データの提出」

manaba コース「2026 年度秋派遣」のレポート「2026 年度海外留学支援制度(協定派遣)応募書類」より該当する応募書類を応募期限までに提出してください。

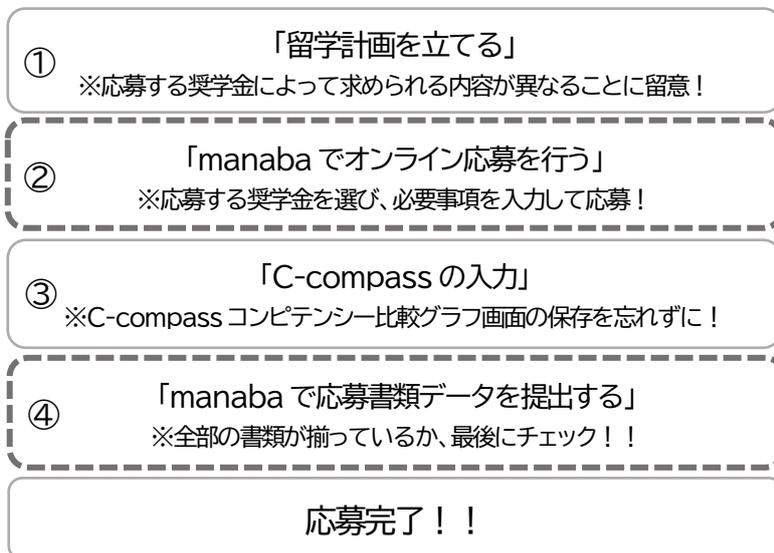
【提出はコチラから】

manaba コース「2025 年度秋派遣」のレポート「2025 年度海外留学支援制度(協定派遣)応募書類」

<https://room.chuo-u.ac.jp/ct/course/6486756/report>



【応募フロー】



※②と④の両方を、**2026年4月24日(金)午前10時<日本時間>**までに完了してください。

<応募に関する留意点>

応募する奨学金について

・オンライン応募の際には希望する奨学金を第2希望まで選択してください。

例1: 第1希望 北米奨学金、第2希望グローバル PBL 型留学奨学金

例2: 第1希望 アジア・オセアニア留学奨学金、第2希望グローバル・アントレプレナーシップ奨学金

なお、多くの学生が奨学金に採用にされるよう調整した結果、第1希望、第2希望以外の奨学金で採用される場合があります。

<応募書類データ>

所定様式の元データは manaba コース「2026 年度秋派遣」のレポートよりダウンロード可能です。

| 対象 | 所定様式 | 書類名 |
|-------|------|---|
| 全員 | ○ | JASSO 成績評価係数確認書 |
| | ○ | 口座振込依頼書 ※ 本人名義、日本国内にある口座情報を記入。 ※ 記入見本はシート「口座振込依頼書 見本」参照。 |
| | - | 所得証明書 ※ 家計支持者全員分の市区町村役場発行の「所得証明書」(例: 課税証明書、非課税証明書)の写し。合計所得金額(無収入の場合、0円と記載のあるもの)が記載された証明書に限ります。 ※ 父母がいる場合、原則として父母(2名)が「家計支持者」となります。 ※ 無収入の方がいる場合、「非課税証明書」を提出。 ※ 派遣留学生自身が家計支持者である場合、派遣留学生の所得証明書を提出。配偶者がいる場合、配偶者の所得証明書も必要。 |
| | - | Cplus 成績照会画面 ※ Cplus「成績照会」画面のスクリーンショットまたは印刷したデータ。 |
| | - | C-compass コンピテンシー比較グラフ画面(2025 年度後期分) ※ C-compass「コンピテンシー比較グラフ」画面をスクリーンショットまたは印刷したデータ。 ※ C-compass については、別紙(7頁)の「C-compass」の内容を参照してください。 |
| 該当者のみ | - | <他団体等から奨学金を受ける者のみ> 奨学金の月額及び他団体等の奨学金が併給を認めていることを確認できる書類の写し |
| | - | <家計支持者が父母以外の者のみ> 事実関係が確認できる書類(「戸籍謄本」または「戸籍抄本」等) |
| | ○ | <家計支持者全員の収入・所得金額の年間収入金額(税込)合計が 300 万円以下の者のみ> 生計維持者申告書 ※ 本様式を印刷し、「学生署名欄」は必ず <u>手書き</u> で署名。 |

<応募書類ファイル名の設定規則>

「氏名_書類名」の設定規則に沿って変更し、ご提出ください。

【例】

中央白門_JASSO 成績係数確認書

中央白門_口座振込依頼書

中央白門_所得証明書

中央白門_Cplus 成績照会画面

中央白門_C-compass コンピテンシー比較グラフ画面

7. 【2027 年度春派遣学交換留学予定者】応募方法

下記 Google フォームに応募予定の奨学金を入力してください。

<https://forms.gle/SHV7hoCDwhs9mYez8>



2026 年 7 月～8 月頃、改めて本奨学金に本応募していただきます。詳細は対象者にのみ後日お知らせします。上記フォームへの入力 は 2026 年 4 月 24 日(金)午前 10 時<日本時間>までに完了してください。

8. 選考方法

上記の「2.応募要件」を満たす者のうち、「6. 応募方法」に示す「応募書類データ」の内容が基準を満たしていることを確認の上、留学計画の内容と本学における学業成績を踏まえて、総合的に審査を行います。

2027年度春派遣学交換留学予定者については、本応募後に別途審査を行います。

9. 採用取消し

次のいずれかに該当する場合、奨学生としての採用を取り消し、既に支給している奨学金等の返納を求められます。なお、返納時の振込手数料は応募者の負担となります。

- (1) 「2. 応募要件」に掲げる要件のいずれかを満たさなくなった場合
- (2) オンライン応募及び応募申請データに虚偽の事実を記載した場合
- (3) 学業不振や素行不良等が極めて顕著である場合又は留学先大学若しくは本学で懲戒処分を受けた場合
- (4) 除籍又は退学の処分を受けた場合
- (5) 交換留学の許可を取り消された場合
- (6) その他、本制度の奨学生としての責務を怠り、派遣留学生として適当でないと認められた場合

10. 本件に関する問い合わせ先

中央大学 国際センター事務室 派遣留学担当

042-674-2217(平日 9:30~11:30、12:30~17:00 <日本時間>)

cic-haken-grp@g.chuo-u.ac.jp

● 「JASSO 成績評価係数」の計算方法

[成績評価係数の算出方法]

下表による「JASSO 成績評価ポイント」に換算し、「計算式」に当てはめて算出(小数第3位を四捨五入)

※ 入学年度より成績評価のパターンが異なりますので、ご注意ください。

| | | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|---|---|
| 2022年度以降入学生の成績評価 | S | A | B | C | E | F |
| 2021年度以前入学生の成績評価 | A | B | C | D | E | F |
| JASSO 成績評価ポイント | 3 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 |

<計算式の例> 2022年度以降入学生の成績評価

$$(S \text{ の単位数} \times 3) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1) + (E \text{ の単位数} \times 0) + (F \text{ の単位数} \times 0)$$

総登録単位数

<計算式の例> 2021年度以前入学生の成績評価

$$(A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 3) + (C \text{ の単位数} \times 2) + (D \text{ の単位数} \times 1) + (E \text{ の単位数} \times 0) + (F \text{ の単位数} \times 0)$$

総登録単位数

● C-compass

C-compass とは、学生生活での PDCA サイクルを支援するための本学オリジナルのシステムです。詳細は本学公式ウェブサイト(https://www.chuo-u.ac.jp/gp/competency_pro/c_compass/)をご参照ください。

応募書類データ「C-compass コンピテンシー比較グラフ画面」を準備するための流れは以下のとおりです。

<ご利用の流れ>

- (1) C-compass(<https://ccompass.tamacc.chuo-u.ac.jp/ccompass/login>)にログイン。



(2) My Page の項目「Check & Action -自己評価&改善-」のうち、ご自身の「**2025 年度後期**」に該当する項目の「コンピテンシー自己評価」を選択してください。遷移後のページ「コンピテンシー自己評価」において、ご自身の自己評価を全て入力し、提出してください。

MyPage
 入力できる内容：
 【学部 1年次 入学時：活動報告、コンピテンシー自己評価】、【学部 1年次 前期：コンピテンシー指標・目標設定、活動計画設定、前期：活動報告、コンピテンシー自己評価】、【学部 1年次 後期：コンピテンシー指標・目標設定、活動計画設定】

日本語
English

お知らせ 2023/04/04 Up **NEW**

過去の入力内容の確認
 > コンピテンシー閲覧
 > GPA・自己評価平均推移グラフ
 > コンピテンシー比較グラフ
 > 活動計画・実績
 > TOEIC・TOEFL等推移グラフ

当期のPlan確認
 > コンピテンシー指標・目標
 > コンピテンシー比較グラフ
 > 活動計画

関連リンク
 プロジェクト
 > プロジェクト一覧
 > C-search (プロジェクト検索)
 コンピテンシーとは
 > コンピテンシーについて

| | Plan = 計画 = 目標を設定し、それを実現するための活動を計画しましょう。 | DO = 活動報告 = プログラムへの参加など、具体的な活動を実施し、活動実績を入力しましょう。 | Check&Action = 自己評価&改善 = コンピテンシーの自己評価を実施して自己のレベルを確認しましょう。次期の改善内容を考えましょう。 |
|--------|--|--|--|
| 入学時 | | | > コンピテンシー自己評価 ・未入力 |
| 学部 1年次 | 前期 | > コンピテンシー指標・目標設定 ・未入力 > 活動計画設定 ・未入力 | > 活動報告 ・未入力 > コンピテンシー自己評価 ・未入力 |
| | 後期 | > コンピテンシー指標・目標設定 ・未入力 > 活動計画設定 ・未入力 | > 活動報告 > コンピテンシー自己評価 |
| | 前期 | > コンピテンシー指標・目標設定 > 活動計画設定 | > 活動報告 > コンピテンシー自己評価 |
| | 後期 | > コンピテンシー指標・目標設定 > 活動計画設定 | > 活動報告 > コンピテンシー自己評価 |
| 学部 2年次 | 前期 | > コンピテンシー指標・目標設定 > 活動計画設定 | > 活動報告 > コンピテンシー自己評価 |
| | 後期 | > コンピテンシー指標・目標設定 > 活動計画設定 | > 活動報告 > コンピテンシー自己評価 |

MyPage > コンピテンシー自己評価

コンピテンシー自己評価
 学部 1年次 入学時 ステータス：未入力
 各コンピテンシー項目について、現在のレベルを自己評価しましょう。

コミュニケーション力 問題解決力 知識獲得力 組織的行動力

| コンピテンシー項目 | 指標 | 目標 | レベルとその内容 ※現在の該当するレベルをチェックしてください |
|--|-----------------------------|----|---|
| コミュニケーション力 「他人の意見あるいは記述された文章を正しく理解しようとして、それに対する自分の意見を明確に表現する。効果的な質問方法や手段を用いて、期待値を納得させる」能力のことです。 | 傾聴力 他人の意見を聞き、正しく理解し、尊重する | | <input type="radio"/> [0] 意見を聞き、理解することができていない <input type="radio"/> [1] 相手の意見を一通り理解している <input type="radio"/> [2] 相手の意見を十分理解している <input type="radio"/> [3] 相手の意見を十分理解し、自分と異なる意見にも耳を傾けている <input type="radio"/> [4] 相手の意見を十分理解し、自分と異なる意見にも耳を傾け尊重している <input type="radio"/> [5] 相手の意見を十分理解し、背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因する多くの意見にも耳を傾け尊重している |
| | 読解力 記述された内容を正しく理解する | | <input type="radio"/> [0] 記述された内容を理解できていない <input type="radio"/> [1] 記述された内容を理解しようとしている <input type="radio"/> [2] 記述された内容を十分理解している <input type="radio"/> [3] 記述された内容を十分理解した上で、記述されていない内容があることを考慮し、真意がある程度理解している <input type="radio"/> [4] 記述された内容、記述されていない内容を合わせて真意を十分理解している <input type="radio"/> [5] 記述された内容の真意を、背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因する記述されていない内容を合わせて、十分理解している |
| | 定義 | | <input type="radio"/> [0] 記述された文章を他者が理解できていない。あるいは、記述された文章 |

日本語
English

お知らせ 2023/04/04 Up **NEW**

過去の入力内容の確認
 > コンピテンシー閲覧
 > GPA・自己評価平均推移グラフ
 > コンピテンシー比較グラフ
 > 活動計画

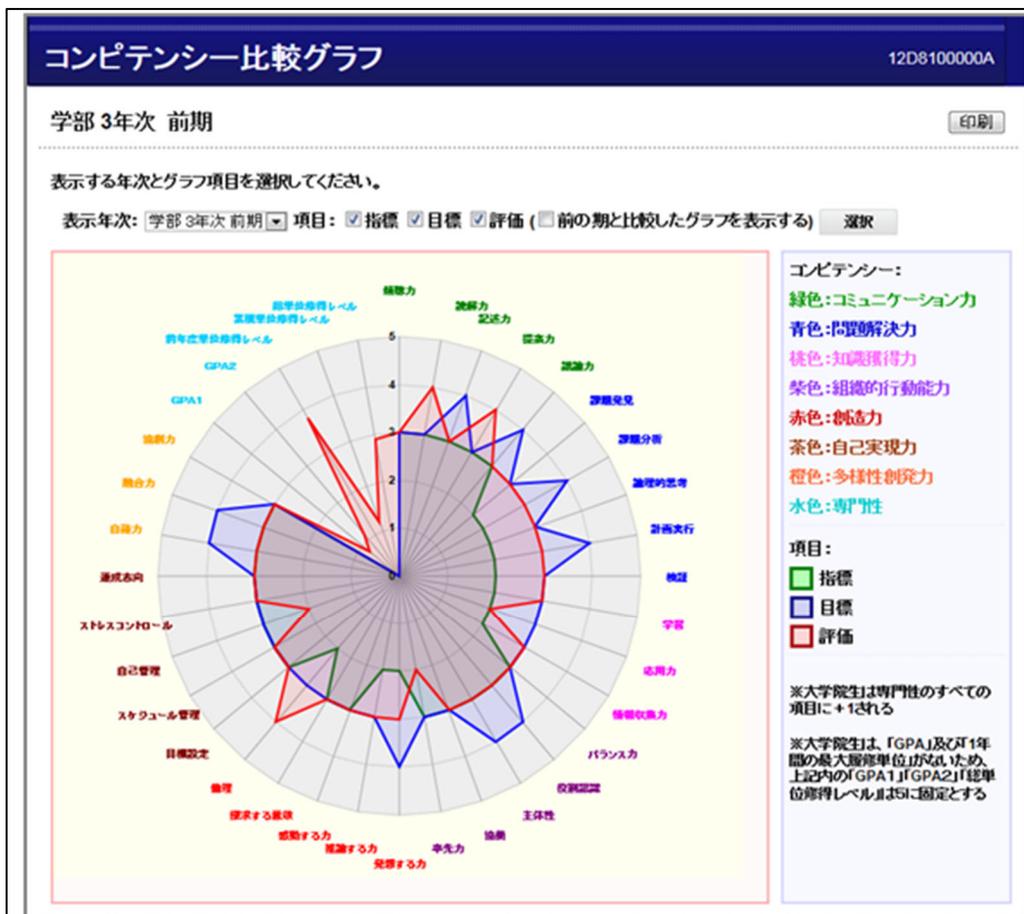
関連リンク
 プロジェクト
 > プロジェクト一覧
 > C-search (プロジェクト検索)
 コンピテンシーとは
 > コンピテンシーについて

MyPageに戻る 一時保存 **確認**

「自己評価」として、該当するレベルをチェック

すべてチェック後、「確認」ボタンをクリック

(3) My Page の右側の項目「過去の入力内容の確認」の「コンピテンシー比較グラフ」を選択し、画面左上の「表示年次」はご自身の「2025 年度後期」に該当する年次・学期を選択、さらに、項目「評価」をチェックしてください(「指標」と「目標」のチェックは不要です)。表示される「コンピテンシー比較グラフ」画面のスクリーンショットまたは印刷したデータを応募書類データとしてご提出ください。



● よくある質問

Q. 留学計画はどの程度具体的に書けばよいですか？

A. P1～3に記載の「支援対象となる留学計画の内容」に沿ったご自身の現時点での留学計画を、なるべく具体的に書いてください。支援対象の留学計画として留学中における実践活動や調査活動が求められている場合には、現段階での予定を書いてください。応募時に実践活動等の受け入れ機関が決まっていなくても結構です。

Q. 応募する奨学金を第2希望まで選択しました。それ以外の奨学金で採用になることがありますか？

A. 第1希望、第2希望の奨学金では採用にならず、他の奨学金で採用になる可能性がある場合は、国際センターから該当学生にご相談させていただきます。

Q. 面接審査はありますか？

A. 面接審査は予定していません。

Q. ISEP で留学予定です。この奨学金に応募はできますか？

A. 残念ながらできません。

Q. 採用の倍率どれくらいですか？

A. 昨年度(2025年度)は下記の通りでした。

北米留学奨学金:募集人数 25 人、採用人数 17 人

欧州留学奨学金:募集人数 55 人、採用人数 30 人

アジア・オセアニア留学奨学金:募集人数 35 人、採用人数 18 人

サステイナブル社会実現 PBL 型留学奨学金:募集人数 35 人、採用人数 6 人

グローバル・アントレプレナーシップ奨学金:募集人数 11 人、採用人数 4 人

Q. 応募要件に「経済的な支援を希望する者」とありますが、採用にあたって、応募者の経済状況はどの程度考慮されますか？

A. 応募書類として「所得証明書」を提出していただきますので、所得証明書の内容を確認し、経済的な理由により、自費のみでの留学が困難な学生から採用します。募集枠に余りが生じる場合には、それ以外の学生も採用する予定です。

Q. 他の奨学金と、併願、併給できますか？

A. 併願はできますが、併給については下記の規程があります。

プログラムへの参加にあたり、他の団体(学内の奨学金含む)から支給される海外留学プログラム参加のための奨学金(渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれません)を受ける場合、その奨学金支給月額(複数の他団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額)が、本制度による奨学金月額を超えないこと。

※ **併給可能** … 本学が実施する「長期留学支援奨学金」、JASSO が実施する「第一種・第二種奨学金」(貸与型)
[本奨学金と「長期留学支援奨学金」を併給する場合の留意点]
両奨学金を受給できるように「長期留学支援奨学金」の支給額を調整する場合があります。

※ **併給不可** … JASSO が実施する「国内の給付奨学金」、「海外留学支援制度(大学院学位取得型)」、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～」

本制度の奨学金と他の奨学金の両方が採用になる場合は、他の奨学金の給付金額を調整する必要があるかもしれません。本制度奨学金の採否結果は、5月末頃に通知予定です。

以上

海外留学支援制度（協定派遣・協定受入） 国・地域コード表

※「地域」や「国・地域名」欄で「その他（コードなし）」に該当する際は事前に機構へ連絡してください。

※「区分」欄は、A地区=A、B地区=B、C地区=C、D地区=Dと表記しています。

※「国籍」欄が「1」のコードは、協定受入で受入学生の国籍登録用に使用します。

| 地域 | コード | 国・地域名 | 都市名 | 区分 | 国籍 |
|-------|------|---------|--|----|----|
| アジア | 1000 | 台湾 | | C | 1 |
| | 1040 | カンボジア | | C | 1 |
| | 1050 | 中国 | 北京、上海、広州 | C | 1 |
| | 1051 | 中国 | その他の都市 | D | |
| | 1070 | インド | ニューデリー、ベンガルール、ムンバイ | C | 1 |
| | 1071 | インド | その他の都市 | D | |
| | 1080 | インドネシア | ジャカルタ、デンパサール | C | 1 |
| | 1081 | インドネシア | その他の都市 | D | |
| | 1090 | 大韓民国 | ソウル | B | 1 |
| | 1091 | 大韓民国 | その他の都市 | C | |
| | 1120 | マレーシア | | D | 1 |
| | 1170 | フィリピン | | C | 1 |
| | 1190 | スリランカ | | C | 1 |
| | 1200 | タイ | チェンマイ | D | 1 |
| | 1201 | タイ | その他の都市 | C | |
| | 1210 | ベトナム | | D | 1 |
| | 1910 | シンガポール | | B | 1 |
| 1930 | 香港 | | B | 1 | |
| | | その他 | | C | |
| 中南米 | 2140 | メキシコ | | C | 1 |
| 中東 | 3130 | トルコ | アンカラ | D | 1 |
| | 3131 | トルコ | その他の都市 | C | |
| 北米 | 5010 | カナダ | トロント、バンクーバー | A | 1 |
| | 5011 | カナダ | その他の都市 | B | |
| | 5020 | アメリカ合衆国 | サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ワシントンD.C.、シアトル、シカゴ、デトロイト、デンバー、ボストン、ホノルル | A | 1 |
| | 5021 | アメリカ合衆国 | ハガツニャ | C | |
| | 5022 | アメリカ合衆国 | その他の都市 | B | |
| | | | その他 | | B |
| オセアニア | 6010 | オーストラリア | | B | 1 |
| ヨーロッパ | 7060 | ベルギー | | B | 1 |
| | 7120 | クロアチア | | C | 1 |
| | 7130 | チェコ | | C | 1 |
| | 7140 | デンマーク | | B | 1 |
| | 7150 | フィンランド | | B | 1 |
| | 7160 | フランス | パリ | B | 1 |
| | 7161 | フランス | その他の都市 | C | |
| | 7170 | ドイツ | | C | 1 |
| | 7200 | アイスランド | | A | 1 |
| | 7210 | アイルランド | | B | 1 |
| | 7220 | イタリア | ミラノ、ローマ | B | 1 |
| | 7221 | イタリア | その他の都市 | C | |
| | 7240 | マルタ | | C | 1 |
| | 7260 | オランダ | | C | 1 |
| | 7280 | ポーランド | ワルシャワ | C | 1 |
| | 7281 | ポーランド | その他の都市 | D | |
| | 7340 | スペイン | バルセロナ、マドリード | B | 1 |
| | 7341 | スペイン | その他の都市 | C | |
| | 7350 | スウェーデン | ストックホルム | B | 1 |
| | 7351 | スウェーデン | その他の都市 | C | |
| | 7360 | スイス | | B | 1 |
| | 7370 | 英国 | ロンドン | A | 1 |
| | 7371 | 英国 | その他の都市 | B | |
| | | その他 | | C | |